

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 9 月 2 日

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまちづくり
施策No.	9	施策名	観光の振興
主管課名	商工観光課	主管課長名	堀 昭禎
関係課名	企画政策課、埋没林博物館、水族博物館		

施策が目指すことがた	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした観光振興により、多くの人が訪れ、にぎわっています。 ・広域的な観光連携が進み、外国からの観光客も増加しています。 ・観光客の増加により地元消費が生まれ、地域全体が活性化しています。 ・おもてなしの心で観光客を受け入れる体制が整っています。
------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所・民	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者に対し、おもてなしの心をもって接します。 ・観光行事に積極的に参加し、にぎわいのあるまちにします。 ・市民自ら地域の魅力を再発見し継承します。 ・市民自ら地域の魅力を全国に発信します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興条例及び観光振興計画を策定し、地域活性化と広域的な観光を推進します。 ・関係機関との連携を図り、地域の情報の発信等に勤めます。 ・地域の観光資源開発を各種団体と共に進めます。
	その他	

	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策にかかるコスト等	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)			
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	39,006	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	17,502			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	14,941			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	6,563			
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	30			
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	7,420			
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	32,641			
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	71,647	0	0	0
	市民1人あたりにおける施策の							
G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	880				
同上								
H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	737				
同上								
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	1,617				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	9	施策名	観光の振興							
基本事業名①		事業内容(活動内容)								
観光資源のブランド力向上と整備		市内の観光資源の連携活用で、ブランド力の向上を図り、観光客が再び訪れたいような魅力ある魚津をつくり上げるための支援や整備を行います。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
観光イベント支援事業		各種観光イベントへの出展を支援します。								
みなとまちづくり事業		みなとオアシス魚津周辺の観光資源等を活用して地域振興を行う市民団体等に事業助成を行い、みなとまちの活性化を図ります。								
歴史と文化が薫るまちづくり事業		松倉城跡を始めとする市内城跡の解説板などの整備。また、それらを利用した観光コースなどを提案します。								
基本事業①の目的 【意図】		地域資源を生かした観光を促進し、観光客の増加を図ります。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
観光客入込数		千人	1,614	1,600 1,464	1,650 1,409	1,700 1,504	1,750	1,800	1,900	2,150
宿泊者数		千人	215	220 223	225 232	230 308	235	240	245	270
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
情報の活用と受け入れ体制の整備		観光客への情報提供や首都圏を中心としたPR活動や、ホームページや観光ガイドなどの情報インフラの充実と、外国人対応などの総合案内機能を強化します。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
観光・物産宣伝事業		魚津市の観光情報の発信や特産品のPRを大都市圏などで行います。								
受入体制整備事業		観光客の受け入れ態勢や観光施設の整備などを進めます。								
コンベンション開催支援事業		コンベンション対象事業に対し、宿泊助成等を行います。								
広域観光連携事業		観光圏域での観光資源の相互利用などで、滞在時間を長くするための連携事業を行います。								
国際観光ボランティア育成事業		外国人への観光ボランティア対応を進めます。								
基本事業②の目的 【意図】		おもてなしの心で観光客を受け入れ、地域全体の活性化を図ります。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
観光ボランティア人数		人	16	20 18	23 19	26 21	30	33	36	50
HPアクセス件数		件	178,258	182,000 319,302	185,600 9,523	189,200 81,914	192,800	196,400	200,000	232,000
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
広域観光ネットワークの振興		広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランをつくり、滞在型観光を促進します。また、外国語パンフレットや案内標識などを整備し、国際化に対応したまちづくりで来訪者数の増加を図ります。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
広域観光連携事業(再掲)		観光圏域での観光資源の相互利用などで、滞在時間を長くするための連携事業を行います。								
国際観光推進事業		宿泊施設が外国人対応出来る接客や案内表示などの整備を推進します。								
多言語案内標識等設置事業		観光施設の案内看板の多言語対応を推進します。								
外国語観光パンフレット作成事業		観光施設のパンフレットの多言語対応を推進します。								
国際観光ボランティア育成事業(再掲)		外国人への観光ボランティア対応を進めます。								
基本事業③の目的 【意図】		広域的観光連携を進め、外国からの観光客の受け入れを促進します。								
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
新川地域観光客入込数		千人	5,401	5,500 5,149	5,600 4,476	5,700 4,574	5,800	5,910	6,020	6,979
新川地域内平均宿泊日数		日	—	1.52 1.50	1.57 1.21	1.63 調査中	1.69	1.75	1.79	2.07
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的 【意図】										
成果指標名		単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	9	施策名	観光の振興
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光入込数は「天地人」効果のあった平成21年と比べ大きく減少しています。さらに、東日本大震災の影響を受け、平成23年度はさらに減少したが、平成24年度は若干回復傾向です。 ◆観光ボランティア人数は計画を若干下回っています。なお、観光協会ホームページをリニューアルした際、アクセス数の集計方法を変更したため、大きく減少しました。 ◆新川地域観光客入込数、平均宿泊日数は、調査中です。 ◆駅前観光案内所が23年4月オープンし、案内所の来場者は増えつつあります。 		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆新川地域の観光客入込数、宿泊者数は未確定です。 ◆観光ボランティア人数は他市も設立当初は若干増えるものの、経年により横ばい状態です。ホームページアクセス数は観光客の旅行形態が団体中心から個人客中心に変化し、ITの普及に伴いアクセス数は増加していると推測されるが、アクセス集計方法を変更したため、比較できません。 ◆広域観光としては、近隣他市と新川観光圏事業や新川地域観光推進協議会などで協力して観光の推進に取り組んでいます。各市町とは観光の情報や資源を共有し事業を進めて、広域観光連携により滞在型の観光の推進を目指します。 		
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆観光の振興により地域の活性化を目標に進めているものの、観光への取り組みは個別に点で行われてきたことから、入込客数や宿泊者数が飛躍的な増には繋がっていないと推測されます。 ◆観光ボランティア人数も徐々に増えつつあるが、市民意識やボランティア環境などの普及整備が進んでいないことから若干遅れています。なお、観光協会ホームページのアクセス数は、集計方法を変更したため、比較できません。 			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆にいかわ観光圏事業が始まり、近隣他市町との観光連携により、観光基盤の整備が進みつつあります。新川観光圏事業で整備された駅前観光案内所は、観光事業推進の拠点として多くの観光客が訪れました。 ◆魚津市としても、観光振興計画の策定を進めており、観光を中心とした地域活性化に対する観光関連事業者の意識も高まっているものと考えます。 ◆IT化社会の進展により、個人で直接情報を収集する事が当たり前となり、多くの方がホームページにアクセスしています。 ◆魚津市ゆるキャラ「ミラたん」も認知度が高まりつつあり、各種イベント等で活躍しています。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆観光圏事業により、広域での情報の共有や観光資源の共有が進められつつあるが、観光客の受け入れ態勢の整備が課題であり、市単独での研修会や広域での研修がより一層必要になっています。 ◆観光協会の役割も大きくなってきているが、事業母体が商工会議所依存から独立しての事業展開に向けて、人的・財政的な強化が必要であり、行政と各種団体及び観光関連事業者の果たす役割の明確化が必要です。さらに、駅前観光案内所をいかに活用して行くかも大きな課題です。 ◆地域資源と人材を活かした観光の推進と情報の収集及び発信が観光の推進に於ける重要な課題であり、観光振興計画に基づき、事業展開を図っていきます。 			

	施策の重要度	重点
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)		<p>新幹線開業に伴い、関西方面からのビジネス客や観光客の減少などといった新たな課題が出てくると思われます。関東からの新たな客層の誘導とともに関西方面の減少に対する対策として、新駅のアクセスを含め、公共交通機関の整備が進められています。しかし、交流人口の増加を図るためには、公共交通機関を活用した観光ルートの作成や滞在型の着地観光の促進が必要です。</p> <p>平成25年度に取り組んだ、魚津の強みである宿泊施設の多さと飲食店の多さを結びつけた「飲み歩き」や「魚津バル街」、若者が中心となって開催した「よっしゃ来いCHOUROKU」など官民連携して行う事業の継続を図ります。引き続き、観光推進員や観光コンシェルジュ等の観光に関わる人材の確保に努めます。</p> <p>また、魚津の貴重な地域資源である「魚津の水循環」や「博物館」を観光資源として魅力あるものとしてPRや施設充実を図る必要があります。</p> <p>魚津の観光の重要なキーワードである「食」については、関係団体と協力しながら食のブラッシュアップ、地場産品へのこだわりといった魅力の開発を促進していきます。</p>

	施策の重要度	重点
行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)		<ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通機関を活用した観光ルートの作成や滞在型の着地観光を促進し、観光客の増加を図ります。 ◆魚津の強みである質の高い食材と宿泊施設や飲食店の多さを活かした食泊連携を推進します。 ◆貴重な地域資源である「魚津の水循環」や「博物館」を魅力ある観光資源としてPRするとともに、北陸新幹線の開業に向けて施設の充実を図ります。 ◆関係団体と協力しながら、地域資源のブランド力の向上を図ります。